

特講・福祉心理学 4 (スクール・カウンセリング)			科目コード	FT2604
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
1	S	1 年以上	中村 恵子	

※2017年度以前に入学した方が対象の科目です。2018年度以降に入学した方は履修登録できません。

※この科目は2019年2/16・17の仙台会場のスクーリング受講が必要です。受講希望者は12/24までに履修登録とスクーリングの申込みが必要です。

※2019年度以降はこの特講科目は開講されず、2017年度以前入学者が同様の内容を学びたい場合は「教育・学校心理学B（学校心理学）」（p.162参照）の履修が可能になる予定です。2018年度までのこの特講科目の単位修得者が「教育・学校心理学B（学校心理学）」を履修した際のスクーリング合格成績の移行などの扱いは決まり次第、『With』などでご連絡します。

■スクーリングで学んでほしいこと

教育臨床での専門職は、いまや教師だけでなくスクールカウンセラー、支援員、相談員、スクールソーシャルワーカーと多様化し、そのチーム援助が求められる時代になりました。本講義では、教育現場において生じる問題およびその背景を理解し、子どもの適応支援の方法について学びます。スクーリングでは、事例から学校不適応によって生じる問題と、その適応支援の方法論を学びます。

■到達目標

- 1) 教育現場において生じる問題を説明できる。
- 2) 教育現場において生じる問題の背景を説明できる。
- 3) 学校適応条件を説明できる
- 4) 学校不適応の子ども支援の方法を説明できる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内 容
1	教育現場において生じる問題とその背景	不登校の増加と長期化およびその課題
2	教育臨床に有効なカウンセリング技法	発話を促す基本技法
3	教育臨床に有効な集団援助技法	対人関係ゲームの理論と演習
4	学校適応に求められる要因	学校適応の条件
5	学校適応に求められる発達課題	愛着形成～嫉妬形成～母子分離
6	学校不適応の理解	不登校事例の問題分析
7	学校不適応への援助方法	不登校事例の介入計画作成
8	質疑応答	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

- ・パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。教科書は参考程度に使用します。
- ・授業では事例を提示し、グループでのディスカッションを中心に読み解きます。

■スクーリング 評価基準

- ・とくに学校適応条件についての理解を問います。(教科書・配付資料持込可)
- ・授業への参加態度30%+スクーリング試験70% (論述式)

■スクーリング時の教科書

中村恵子編著『学校カウンセリングー問題解決のための校内支援体制とフォーミュレーション 第2版』ナカニシヤ出版、2011年 は必ず持参してください。

※教科書はスクーリング受講料納入後に送付します。

■スクーリング事前学習 (学習時間の目安：3～10時間)

教科書の1章～3章は読んできてください。(学習時間の目安：3～10時間)

■スクーリング事後学習 (学習時間の目安：20～28時間)

下記および授業で提示される参考図書を学習してください。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

教育臨床では、とくに、「総合的な人間理解力」、「批判的・創造的思考に基づく問題発見・解決力」「集団理解に基づく対人調整力」を身につけてほしい。

■参考図書

田上不二夫著『不登校の子どもへのつながりあう登校支援：対人関係ゲームを用いたシステムズ・アプローチ』金子書房、2017年

水野治久・石隈利紀他著『よくわかる学校心理学』ミネルヴァ書房、2013年

田上不二夫著『実践 グループカウンセリングー子どもが育ちあう学級集団づくり』金子書房、2010年

小林正幸著『事例に学ぶ不登校の子への援助の実際』金子書房、2004年